

とちぎ市議会だより

第32号(6月定例会)

2017.8.18



引くぞ！ カ一杯！

特集

副議長選挙の結果 (議会人事)	2
視察の報告 (研究会・委員会)	3
モニターアンケート報告	14
モニターインタビュー	15

「旧栃木市役所本庁舎」解体	4
(6月定例会で決まったこと)	
13名の議員が市政を質す	6
(一般質問)	
その他の活動・お知らせ	12

P3に写真の説明

特集

副議長選挙の結果

副議長に中島議員



定例会初日、副議長の選挙が行われました。本市議会では、選挙の前に副議長就任を希望する議員による所信表明会を開催しています。所信表明会では、2名の議員が登壇し、その様子は全て、ケーブルテレビやインターネットを通じて生放送されました。



中島 克訓 副議長

副議長として、抱負を聞かせください

議会運営を円滑に遂行していくために、議長を補佐していきたいと考えています。

特に意識することは何ですか

32名の議員と力をあわせて議会の諸課題に取り組んでいきたいと思

います。その中でも議会改革検討委員会で検討項目に上

り方について、積極的に議論していきたいと考えています。広報紙発行特別委員会の副委員長も務めています。今後の広報委員会に期待することなどをお聞かせください

議会だよりは市民と議会を結ぶ特別な媒体です。しっかりと説明責任を果たして、市民に読まれる紙面づくりをしていただきたいと思います。

また2月に、先進地の視察に行かせていただきましたが、委員が紙面の大部分を作成していました。本市議会も最終的にはそこを目標として、取り組んでいただきたいと思います。

副議長選挙に向けた所信表明会

- ・海老原議長の4つの柱、議会改革の歩みをさらに前進させる
- ・市民から頼られる議会への確かな一歩を踏み出していく
- ・議長を補佐するだけでなく、必要に応じて議長に意見を具申する
- ・議員一人ひとりの声に耳を傾け、安定した議会の運営を図る

その後登壇した中島議員



はじめに登壇した岡議員

- ・議員一人ひとりの意見を尊重し、公平で公正な議会運営を図る
- ・市民との情報共有化を図る
- ・議会の政策形成機能の充実を図る
- ・市民に信頼される風通しの良い、開かれた議会を目指す

副議長選挙



全33名の議員が投票



厳正なる開票の結果



中島議員が当選しました

特 集

視察の報告

千塚町上川原産業団地の状況は？（議員研究会）



7/11 千塚町上川原産業団地 現地視察の様子

千塚町上川原産業団地を視察しました。当日は、分譲や造成工事の状況、完成した新千塚橋やアクセス道路についての説明を受けました。

分譲の状況については、昨年11月から予約分譲が開始され、現在までに4社との土地の売買契約が完了したところです。議会においても6月定例会において財産の処分について、議決をしました。また、7月からは本格的な分譲も開始されます。

今年度は、造成工事や区画整理事業が完了する予定となっております。

活発な議論をするには？（議会改革検討委員会）

本市議会では議会改革検討委員会において自由討議のワーキンググループを立ち上げ、導入に向けて研究しているところです。

その一環として、所沢市議会において議員が討議を活発に行う自由討議や特定のテーマについて意見交換を公開で行う政策討論会の取組を学びました。

自由討議を行うことで論点が整理されることや各議員の考え方が明らかになることなど、自由討議の重要性について説明を受け、活発に質疑応答がなされました。

所沢市議会の事例を参考にしながら、導入に向けてさらなる議論を重ねてまいります。

7/7 埼玉県所沢市議会
先進地視察の様子
 表紙の写真

引くぞ！カー杯！

7月2日に行われた、都賀中学校運動会の一コマです。この日は、雨も降らず暑すぎず、絶好の運動会日和でした。都賀中学校は、紅白対抗ではなく、全学年縦割りで、1組は青組・2組は緑組・3組は黄組・4組は桃組のクラス対抗が伝統になっています。生徒の皆さんは、日頃の練習の成果を十分発揮して、最後まで笑顔でカー杯ががんばっていました。（写真は綱引きの様子）



6月定例会で決まったこと

(主な議案)

6月定例会で審査した主な議案等についてお知らせします。
各議案の詳細については、市議会ホームページの議案書をご覧ください。
下記のQRコードをご利用になると、簡単にアクセスできます。



防犯カメラの設置及び運用

議案第62号
条例の制定

可決 全会一致

議案の概要

市民等の権利権益を保護するとともに、安全安心で快適に暮らせるまちづくりに資することを目的とし、条例を制定することとなりました。

防犯カメラは、犯罪被害の未然防止や犯罪発生後の捜査に極めて有効であることは周知の事実となっており、今後も、安全で安心して暮らせるまちづくりの実現に大きな役割を担っていくものと考えられ、市や自治会等による設置が促進される可能性があります。

一方、防犯カメラは不特定多数の

者を撮影するため、知らないうちに関自分の姿が撮影され、目的外に利用されること等に不安を感じる方もいます。
このことから、管理運用基準等を定め、適正な設置を推進する必要があります。

質 疑

質 市が現在設置している防犯カメラの台数は

答 本年1月現在で、41施設に143台が設置されている。今後は、子どもが通うような施設に優先的に設置していく方針である。

質 自治会において管理責任者や取扱者が1〜2年で交代になつてしまうことへの対応は

答 自治会内でしっかりと引継ぎをやっていたらいいと考えているが、市への届出が漏れている場合は、働きかけをすることも検討したい。

旧栃木市役所本庁舎の解体

議案第67号
工事請負契約の締結

可決 賛成 29
反対 2

議案の概要

本市入舟町地内にある旧栃木市役所本庁舎等を解体するにあたり、栃木市尻内町の坂本・日向野特定建設工事共同企業体と工事請負を締結することになりました。

契約の方法については事後審査型条件付き一般競争入札(※)で行い、契約金額は1億7107万2000円でした。

また、5つの共同企業体が入札に応じて、落札率は97.39%でした。

質 疑

質 共同企業体方式を採用した理由は

答 周辺に小学校や病院など、公共施設があることから、難易度の高い解体工事を実施するにあたり、その技術を集結する必要性があるという判断のもと、共同企業体方式を採用した。

質 アスベスト含有調査の実施状況

答 昨年度調査を実施したところ、非飛散性のアスベストの含有が確認された。工事を実施する際には、法令に基づいた解体手法により、細心の注意を図りながら実施していきたい。

用語解説

(※) 事後審査型条件付き一般競争入札
入札後に落札保留をし、事後審査を行って、落札決定を行うというもの。



本会議の表決前に、他の議員の賛同を得るために、討論が行われた議案等と発言した議員名は次のとおりです。(◇=賛成 ◆=反対)

- 大武真一議員 ◆議案第67号 ◆議案第68号 ◆議案第69号 ◇陳情第1号 ◇陳情第2号 ◇陳情第3号
 広瀬義明議員 ◇議案第67号 ◇議案第68号 ◇議案第69号
 平池紘士議員 ◆議案第68号
 千葉正弘議員 ◆陳情第2号
 白石幹男議員 ◆議案第67号 ◆議案第68号 ◆議案第69号 ◇陳情第1号 ◇陳情第2号 ◇陳情第3号

議案第68号 財産の取得(バス) 賛成・反対討論

【賛成】この度の大型バスの購入に当たっては、市内に大規模な工場があり、多くの従業員を有し、雇用や市税の納付の面で、本市への貢献度が高い、大型バスを製造する国内有数のメーカーである「いすゞ」の製品を指定することとしたとの説明が執行部よりあった。ある意味においては、貴重な税金を有効に循環させる方法の一つとして理解するところであり、当然のことである。

【反対】購入車種を指定したことにより、応札者が限定されてしまった。国内にはバスメーカーが他にも存在しており、競争性をないがしろにする入札には反対である。もっと適法な形で地元企業を支援するべきではないか。また、地元企業というのは市内に本社機能を有している企業のことをいい、いすゞ自動車の本社は東京都であるため、地元企業とは言えない。

議案等の審議結果

6月定例会では、議案24件、陳情3件が審査され、その内、全会一致は21件、賛否が分かれた議案等は6件でした。

賛否が分かれた議案等の各議員の賛否は以下のとおりです。

○=賛成、●=反対

議案番号	議案名	採決結果	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33	34	
			大谷好一 (誠心)	茂呂健市 (栃木新風会)	青木一男 (大樹)	針谷育造 (栃木新風会)	坂東一敏 (誠心)	広瀬昌子 (無会派)	小久保かおる (公明党議員会)	古沢ちい子 (公明党議員会)	松本喜一 (無会派)	白石渡辺 (誠心)	関口幹男 (無会派)	氏家晃 (黎明)	平池紘士 (黎明)	針谷正夫 (黎明)	大出三夫 (黎明)	大阿久岩人 (新生クラブ)	大川秀子 (黎明)	長芳孝 (黎明)	千葉正弘 (大樹)	入野登志子 (公明党議員会)	天谷浩明 (誠心)	24 広瀬義明 (大樹)	25 福富善明 (大樹)	26 大武真一 (無会派)	27 海老原恵子 (無会派)	28 永田武志 (黎明)	29 岡賢治 (大樹)	30 小堀良江 (新生クラブ)	31 梅澤米満 (栃木新風会)	32 中島克訓 (無会派)	33 高岩義祐 (無会派)	34 福田裕司 (無会派)		
議案	67号	工事請負契約(旧栃木市役所本庁舎解体工事)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	68号	財産の取得(庁用大型バス)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	69号	財産の取得(消防ポンプ自動車)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
陳情	1号	県立高等学校入学選抜で再募集実施を求める意見書採択・提出にかかわる陳情	不採択	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
	2号	「県南広域的水道整備計画」に関する陳情	不採択	●	●	●	●	●	●	●	●	●	○	●	●	●	○	●	●	●	●	○	●	●	●	○	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
	3号	農業者戸別所得補償制度の復活をもとめる陳情	不採択	●	○	●	○	●	●	●	●	●	●	○	●	●	●	●	●	●	●	○	●	●	●	●	○	●	●	●	●	●	●	●	●	●

議長のため採決には加わらない



小久保かおる議員
公明党議員会

アイバンクに対する支援やPRをどのように行っていくのか

栃木県アイバンクは昭和52年に厚生労働大臣の許可を受けて以来、県内のライオンズクラブと連携し献眼運動を行っている。

目が見えない原因は様々であるが、そのうち約5%の方は角膜移植によって視力の回復が見込めると考えられている。近年は献眼登録者数が低迷している状況にあるが、市としてアイバンクの献眼運動への支援やPRをどのように行っていくか伺う。

答弁 藤田保健福祉部長

各種イベントや検診等で登録の呼びかけを行っていききたい

本市においても、ここ数年は年に1名程度の献眼者があり、アイバンクと連携を図りながら、献眼

●ひとにやさしいまちづくり
○人権（LGBT）
○特定健診の受診率アップ

者の尊いご遺志に敬意を表するため、感謝状の贈呈をさせていただいている。

しかし、このアイバンク活動は認知度が低く、慢性的に移植待機者が存在する現状でもあるので、健康増進課及び各総合支所の窓口で、献眼登録申込書や「光とアイ」という栃木県アイバンクの会報誌を備え、周知を図っている。

大変重要な活動と考えているので、今後多くの方が献眼登録をされ、1日でも早く角膜移植の待機者がなくなるよう、市HP等でPRするとともに、市民健康まつりや集団検診などの際に登録を呼びかけたい。



市 政 に 対 す る 一 般 質 問



針谷 育造 議員
栃木新風会

責任問題を明確にし、再建計画を作らなければならない

観光農園が実施した28年度設備投資は、事業計画や予算にも計上されず、取締役会にも諮られていない。これは定款や会社経営違反である。架空助成金を当てにした結果、多額の負債を抱えることになった責任は明確にしなければならぬ。市長は設備投資自体必要であり、違法性はなかったと説明しているが、理解できない。

補正予算による公的支援4775万円の考え方と具体的再建計画を伺う。

答弁 鈴木市長

経営健全化計画を策定し、経営改善に取り組んでいく

8月中を目標に今後3年間で実践する経営健全化計画を策定し、

●株式会社観光農園いわふねの損失問題
○教育行政

単年度収支の改善を図りながら、将来のあるべき姿について、委託や営業譲渡なども含めて、あらゆる可能性を検討する。将来的には施設運営のノウハウを持つ民間資本導入により、魅力ある都市農村交流拠点として事業再生を図る。

第3セクターの経営収入のみでは不足すると認められる経費については、公的支援を行うこともやむを得ないと考えられるが、漫然とした支援の継続や、支援を安易に拡大させないことが特に重要である。

今後は経営改善検討チームを組織し、販売促進計画など具体的な改善策を策定する。さらに、各種事業等の見直しを行うとともに、農業体験学習等、新たな魅力の創出を図る。



健康寿命の延伸の実現のためにどのような広報活動を行うのか



古沢ちい子議員
公明党議員会

健康増進計画では「健康寿命の延伸」の実現に向けて生活習慣の改善に重点を置き、社会全体で健康を守る環境を整えるところ。誰もが望む健康寿命の延伸に向けた機運の醸成として、広報活動やキャッチコピーなどが有効と考える。

健康都市宣言後、チラシを配布するなど積極的に広報活動していく

健康増進計画は、策定から3年が経過したことから、さらなる健

答弁 藤田保健福祉部長

この健康都市宣言を市民に浸透させ実践していただくことが健康寿命の延伸につながるものと考えている。宣言の後には、宣言名や宣言文を活用し、懸垂幕やのぼり旗の設置、ポスターの掲示、チラシの配布等で積極的に広報活動をし、一人でも多くの方に、健康づくりに関心を持っていただきたい。1日でも長く健康で長生きできるように、市民の皆様と共に取り組んでいきたい。



- 嘉右衛門町重伝建地区のまちづくり
- 高校生の街、文教都市・栃木市の街づくり
- 健康寿命の延伸
- 自主防災組織の育成と強化

市 政 に 対 す る 一 般 質 問



消防団再編計画策定にあたり市民の理解を得るための取組は



広瀬 昌子 議員
無党派

「栃木市消防団充実強化策」では、消防団を取り巻く状況や課題解決のために多くの充実強化策が示された。地域での団員不足や将来に不安の声も多くある中で、消防団再編計画に期待するものである。

再編計画の具体的な内容、分団の意見を尊重しながら自治会や多くの市民の理解を得るための取組について伺う。

答弁 増山消防長

自治会等から意見を聞き、説明会を開催するなど調整を図っていく

限られた人材・資材の中で本市消防団の使命である「市民の生命と財産を守ること」を今後も達成し、市民から期待される迅速で効

- 栃木市消防団の充実強化
- 子ども子育て支援事業

率的な災害対応を行うため、指揮命令系統の一本化及び旧市町の境界にとられない出動体制を構築するため、消防団の再編を進めていく。計画の策定にあたっては、「指揮命令系統の一本化」、「出動区域の見直し」、「分団や部の統合及び消防団員数の見直し」の3つの方針をもとに、栃木市消防団再編計画検討部会を設け検討していく。

また、自治会・管轄及び近接する分団や部の意見を聞き、地域の実情を把握するとともに説明会を開催するなど、自治会との調整を図りながら、消防団の機能維持に努めていく。



栃木市消防団岩舟方面隊の消防操法大会



広瀬 義明 議員
大 樹

中小企業総合支援センター 設立を

創業のない地域に経済の発展は見込めない。しかしながら、本市の創業比率は非常に低い。行政・商工団体からの創業支援は重要と考える。仙台市には創業を支援する起業支援センターがあり、構想段階から創業後のサポートまで一貫して支援を行う行政組織だが、大きな成果を上げている。本市の賑わい創出・経済活性化の観点からも支援組織の設立を提案させていただきます。

答弁 鈴木市長

創業支援の拠点として (仮称)中小企業総合支援 センターを設置する

「栃木市まち・ひと・しごと創生総合戦略」において、「(仮称)

○市内小中学校と地域の連携強化
●商業活性化のための創業支援施策

中小企業総合支援センター」の設置を明記しており、同センターに創業支援の拠点としての機能を持たせていきたい。栃木市中小企業・小規模企業の振興に関する条例に基づき、本年度中に、振興ビジョンの策定を予定している中で、その中で、創業支援を含めた「中小企業総合支援センター」の機能や組織について検討していく。

現時点のイメージとしては、他市の事例も参考にしながら、制度融資などの経営支援、勤労者向けの福利厚生サービスを行う勤労者支援、創業支援などを柱とした、総合的な機能を持つ組織を目指していきたい。



問 質 一 般 対 政 市



千葉 正弘 議員
大 樹

業務の遂行体制と遂行状況 のチェックはチームで対処 すべきでは

市の業務の遂行体制と遂行状況のチェックはチームとして対処すべきと考える。市民からの問合せに対し、「担当者が不在のためわかりません。」ということは、減らすべきである。

チームとして対処することへの意識により、職場の風通しも良くなり、結果として職員のメンタルヘルス対策にもなり、業務のチェック強化にも繋がる。どのような対応策を講じるのか伺う。

答弁 赤羽根総務部長

チームとしてのチェック 体制を作っていく

業務遂行に当たっては、チームで対処することにより、幾重もの

●市の業務遂行状況のチェック体制のあり方は
○国民健康保険特別会計への一般会計からの繰入れの考え方は
○市民の健康チェックのあり方について提言する

チェックが機能し、誤りを防ぐことにつながるものと考えている。

チームプレーには、信頼関係が大切であり、上司と部下の間で些細なことでも話し合え、相談できる雰囲気、同僚間でも協力し合える人間関係が築かれていなければならない。そのような職場づくりを進めるため、管理職研修として「イクボス研修」を開催したところである。

まず、管理・監督職員が働き方の意識改革を図り、口頭から部下職員の勤務状況を確認しながら、チームとしての業務の遂行状況をチェックする体制を作っていく。

用語解説

(※)イクボス研修

「イクボス」とは、部下の仕事と家庭の両立を推進し、自らも業務改善の取組や工夫を積極的にしている管理職のことです。

本市でも部課長級を対象に外部講師を招きまして、「イクボス」のノウハウを学びました。



大武 真一 議員
無会派

ふれあいバスの費用対効果の検証と、蔵タク運行への予算シフトを

平成27年度決算は、ふれあいバスが約2億5400万円、蔵タクが約7400万円の支出だった。特に昼間の街を走るバスの乗客は少ないように見えるが、マーケティングリサーチをしっかりと行い、費用対効果の課題に配慮すべきではないか。

また、蔵タクへの予算配分を増やすべきと考えるが執行部の考えを伺う。

答弁 若菜生活環境部長

費用対効果に配慮した見直しを検討していく

ふれあいバスは市内各地域から栃木駅への運行を中心としているため、栃木市街地周辺では複数の

○(仮称) 地域交流センター建設
● 栃木市公共交通の在り方

路線が運行している。そのため、利用の少ない路線があるのも事実である。今後は、費用対効果に十分配慮しつつ、詳細な利用実態の調査を実施するなど、公共交通の利用に関するニーズを把握しながら、路線等の見直しに努めていきたい。

蔵タクへの予算配分の増については、蔵タクの年間利用者約6万人に対し、ふれあいバスは約22万人と多くの利用があり、ふれあいバスには、予約が不要、時刻が決まっている、多くの方を移送できるなどのメリットがある。これらを蔵タクに求めることはできないため、費用対効果に配慮した見直しを検討していきたい。



見直しが検討されるふれあいバス

市 政 に 対 す る 一 般 質 問



入野登志子 議員
公明党議員会

クールチョイス(賢い選択)への具体的な取組は

5月23日付け下野新聞に知事と県内25市町長が「クールチョイスとちぎ」共同宣言をしたとの記事が掲載された。

温室効果ガスの排出量を削減するという目標達成のため、温暖化対策に資する「賢い選択」を促す国民運動である「クールチョイス」への市の具体的な取組について伺う。

答弁 若菜生活環境部長

特別実施日を設定し、ライトダウンキャンペーンを実施していく

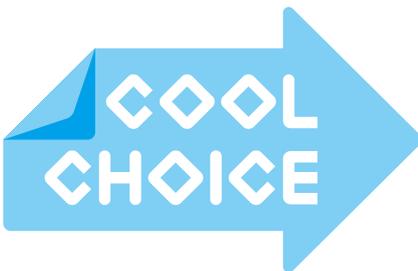
「クールチョイス」の具体的な事例としては、夏至の6月21日とクールアース・デーの7月7日両日を特別実施日として設定し、夜

● 環境対策
○ 選挙公報及び投票
○ 市税等の納付

8時から10時までの2時間、家庭やライトアップ施設の消灯を呼びかける「ライトダウンキャンペーン」を実施する。

また、日常生活の中で地球温暖化対策を実践する契機とすることを目的としたキャンペーンであるため、市役所内でのポスター掲示やFMくらら、ホームページ等で周知していく。

今後についても、省エネにより地球温暖化に歯止めをかける「クールチョイス」等のキャンペーンについて積極的に発信していく。



未来のために、いま選ぼう。



梅澤 米満 議員
栃木新風会

農業基盤整備事業における
土地改良区への財政的支援を

農業基盤整備事業には国、県、地元負担があり、地元負担は市と土地改良区が負担している。地元負担の比率を近隣市町と比較すると、小山市では市が全額負担、野木町では負担割合を変更し、町が負担増をしたとのことである。

平成27年6月定例会では、農業基盤整備事業等への支援を強化していく方針であるとの答弁があったが、本市の方向性について伺う。

答弁 鈴木市長

近隣市町の負担割合と財政
状況を勘案し土地改良区の
負担軽減に努める

事業実施における土地改良区への支援については、国費が入らない事業は補助金により、国費が入

- 水道事業
- 遊休農地
- 農業振興

る事業については、負担金により支援を行い、負担軽減を図っている。

補助金については、災害等の予測の事態が生じた場合には、弾力的に補助率を超えて交付できるよう交付要綱の改正をした。

負担金については、市と土地改良区との負担割合についての定めがなく、今後も協議により適切な負担割合を決定していきたい。

補助金、負担金のどちらについても近隣他市町と比較して不十分なことは認識しており、他市町の負担割合と市の財政状況を勘案のうえ、土

地改良区の事業負担軽減に努めていきたい。



大岩藤第二揚水機場

市 政 に 対 す る 一 般 質 問



針谷 正夫 議員
黎明

子どもの虫歯予防に小学校
でのフッ化物洗口を

西方小、真名子小では35年以上にわたり、フッ化物洗口を実施してきたが永久歯の虫歯予防に有効であり、両校の卒業生が通う西方中は2年連続で「良い歯の優良学校のコンクール」で栃木県知事賞を獲得するなど、効果は実証済みだ。

栃木市歯科医師会もフッ化物洗口に積極的な推進体制にある。教育委員会、学校の理解、協力を得て市内小学校でのフッ化物洗口を推進するべきではないか。

答弁 藤田保健福祉部長

来年度以降の実施に向けた
協議を進めていきたい

フッ化物洗口については、昨年度から県において補助制度を新設したところであり、本市としても、

- 子どもの虫歯予防に小学校でのフッ化物洗口の推進
- 西方地域内の県行分収造林事業

小学校など施設単位で行うフッ化物洗口の実施は、長期間の継続が確実であるため、虫歯予防に有効な手段であると認識している。

そのため今年度、小学校でのフッ化物洗口の全学的な取組を進めるため、まずは、学校関係者のご理解と保護者の同意が必要なことから、その有効性を説明するとともに、実施に当たった課題や問題点等を整理したうえで、学校や学校歯科医の先生方と、来年度以降の実施に向けた協議を進めていきたいと考えている。



みんなでブクブクうがいフッ化物洗口

米軍機の低空飛行訓練の中止を求めよ



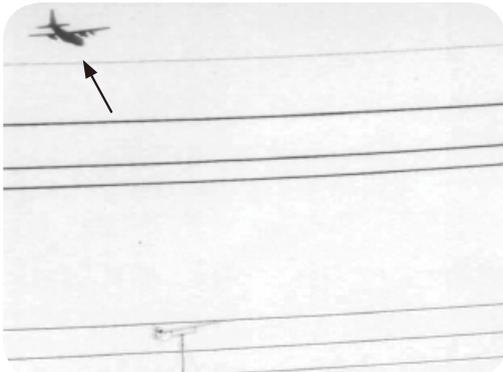
白石 幹男 議員
無会派

本市上空において、米軍機の低空飛行訓練が頻繁に行われている。私の住む鍋山町でもたびたび確認されている。最近では5月22日、午後6時30分頃、西方面に向けて低空飛行する米軍機が確認されている。住民からは「戦争を思い起こす」などの不安の声が寄せられている。市街地での低空飛行訓練はもつてのほかだ。米軍に対し、低空飛行訓練の中止を求めていくべきだと考えるが、見解を伺う。

答弁 榎本危機管理監

訓練の調査と改善を求める要望議案を提出した

昨年3月、米軍機に関する苦情の対応窓口となっている「防衛省北関東防衛局」を訪問し、本市上



—昨年2月 栃木市内で撮影

空での低空飛行訓練を行わないことを米軍側に求めるよう要望した。しかし、その後も、本市上空での低空飛行訓練は繰り返し行われており、多い日には1日に3回の飛行を確認している。このような状況を踏まえ、全国市長会を通じた国への要望活動を行うこととし、今年2月に、本市上空における米軍機の低空飛行訓練の調査とその改善を求める要望議案を提出した。

- 平和行政
- 教育行政
- 水道ビジョン
- オリンピック会場跡地購入の損害賠償訴訟

市 政 に 対 す る 一 般 質 問



防災の観点から巴波川の充実した整備の考えは



平池 紘士議員
黎明

一昨年の関東・東北豪雨による被害を受け、庁舎周辺市街地及び境町・沼和田町・城内町地内の河川の整備と調整池の建設等の計画などを予定しているが、さらなる巴波川の整備が必要ではないか。当局の見解を伺う。

答弁 鈴木建設水道部長

県の事業と連携を取りながら計画、実施をしていく

浸水被害を軽減するには流域全体で効果的な対策を講じる必要があることから、市街地部分の雨水を排除させるために幹線水路や調整池の整備計画の策定作業をしているところである。

さらには、巴波川からの農業用

- 巴波川
- 栃木市のパブリックコメント
- 新学習指導要領

の取水堰の適切な対応による浸水対策も必要であることから、沼和田町地内の愛宕堰の改修を実施する予定である。いずれにしても、効果的な浸水対策になるよう、県の事業と連携を取りながら計画、実施をしていく。



—昨年の関東・東北豪雨時の巴波川

嘉右衛門町は日光例幣使街道として栄えた周知徹底を



長 芳孝 議員 黎明

5年前に嘉右衛門町は県内で初めて重伝建地区に認定された。日光例幣使は1647年から1867年までの220年間、徳川家康をまつてある日光東照宮に朝廷から派遣された勅使である。市内には富田・栃木・合戦場・金崎へと宿場町が続ぎ、全部で13の宿場がある。このようにして嘉右衛門町が日光例幣使街道の宿場町として繁栄した史実を周知してほしい。

答弁 茅原総合政策部長

積極的にPRを展開し、より多くの方々への周知を図る

嘉右衛門町が、重伝建地区に選定されるに際しての文化庁文化審議会においても「日光例幣使街道

- 市マスコミキャラクター「とち介」の活動
- 嘉右衛門町重伝建地区のまちづくり
- 2020年「まちづくり会とちぎ国体」農業振興

に沿って形成された敷地割りを良く残し、我が国にとって価値が高い。」との評価をいただいている。

日光例幣使街道沿いに建つ伝統的建造物が嘉右衛門町重伝建地区の最大の特徴であるので、伝建地区の説明を行う際には例外なく、日光例幣使街道を中心に栄えた街であることをお伝えしている。

近年、重伝建地区への観光客等の来訪者も増加し、当地区の注目度も高まっているので、これまでも増して積極的にPRを展開すること、より多くの方々への周知を図っていきたくと考えている。



嘉右衛門町重伝建地区

市 政 に 対 す る 一 般 質 問



市民の皆様と議会をつなぐ『議会報告会』を開催いたします

議会報告会については、年1回以上開催することを議会基本条例において規定しており、平成23年度から毎年開催しています。

本年度も議会報告会の開催に向け、議会報告会運営委員会で以下のとおり日時等を決定いたしました。なお、詳細は9月中旬ごろ、『広報とちぎ』の折り込みにてお知らせいたします。

日 時	会 場
10月20日(金) 午後2時～午後3時30分	栃木市役所1階市民スペース
10月26日(木) 午後6時30分～午後8時	寺尾公民館 大交流室 栃木文化会館 展示室
10月27日(金) 午後6時30分～午後8時	国府公民館 大交流室 大平健康福祉センター 大会議室
10月30日(月) 午後6時30分～午後8時	真名子夢ホール 多目的研修室 岩舟公民館 講義室
10月31日(火) 午後6時30分～午後8時	都賀公民館 講堂 藤岡公民館 大会議室



フリートークの様子 (昨年11月1日 西方公民館)

☆報告会内容 【1部】 議会報告

- ・議会改革について ～これまでの取り組み～
- ・これまでに報告会でいただいた意見について ～市への提言～

【2部】 フリートーク (意見交換)

参加者と議員で10名程度のグループになり、自由に意見交換を行います。

▶【関東市議会議長会 会長を退任】 & 【全国市議会議長会 副会長に就任】

本市では初開催となる関東市議会議長会の「第83回定期総会」を去る4月25日に栃木市栃木文化会館において、開催しました。同会は全国市議会議長会の関東部会に当たり、1都7県の計216市区議会の議長で組織しており、本市議会議長が関東市議会議長会会長を1年間務め、定期総会の役員改選において、会長を退任し、相談役に就任しました。

また、5月24日に開催された全国市議会議長会第93回定期総会において、本市議会議長が副会長という重要な職に就任しました。



関東市議会議長会 定期総会の壇上で退任の挨拶をする海老原議長（左から6人目）

▶ 平成28年度 視察受け入れ結果一覧

本市議会では、議会運営や各種行政施策について、他市議会の視察受け入れを行っています。

平成28年度は、全国から27市の議会議員の方々が、本市議会が行っている議会改革や本市の優れた施策について、視察されました。

【議会運営などのテーマで来局した他市議会】

期 日	市町名	人員(人)	視 察 項 目
7月 6日 (水)	新潟県五泉市	9	政治倫理条例・議会基本条例・議会中継
7月26日 (火)	静岡県磐田市	11	議会改革・活性化の取り組みについて
8月 4日 (木)	山形県寒河江市	6	議会基本条例の検証について
8月 9日 (火)	宮城県登米市	9	議会報告会について
9月30日 (金)	愛知県安城市	8	タブレットの導入・議会改革の取り組みについて
11月16日 (水)	兵庫県伊丹市	9	政治倫理条例について
1月25日 (水)	埼玉県嵐山町	14	タブレット端末導入の経緯やその効果について、導入後の課題等について
2月10日 (金)	秋田県湯沢市	6	議会改革の取り組みについて (議会基本条例の検証等)
2月15日 (水)	秋田県大仙市	8	議会改革の取り組みについて (議会基本条例の検証と現在の対応状況等)

上記以外に本市が行っている各種施策（「とちぎメディカルセンターについて」や「市庁舎整備について」など）については、各担当課に説明をしていただきました。

本市に対する認知度を高めてもらうほか、来訪に対する経済的効果も踏まえて、今年度も積極的に視察の受け入れを行っています。

また、本市議会でも各常任委員会や特別委員会で先進地の視察を行う予定ですので、随時、議会だよりで報告させていただきます。

モニターアンケート中間報告

昨年の8月（28号）からはじまったモニター制度が1年を経過しました

「モニターアンケート」で出された主な意見

- ・文字のサイズが大きいほうが良い
- ・わかりにくい用語がある
- ・市に対する要望のコーナーがあると良いと思う
- ・一般質問の追跡記事があると良い

モニターの属性

20代女性、20代男性、30代男性、
40代女性、40代男性、40代女性、
50代女性、60代男性
の計8名にお願いしております

これらのご意見を基に、順次、紙面の修正等を加えてきました。

主な修正点

- ・文字をより柔らかい字体に変えました
- ・定例会で決まったことのページにも用語解説を入れました

今後の課題点

- ・市に対する要望のコーナーをどのように募集するか
- ・一般質問の追跡記事はどのように選定するか



1年間を振り返って、今後の発行に対する抱負

文字を変えたり、用語解説を入れたりしたことで一定の効果は得られたと思います。しかしながら、議会だよりが閲覧板で回ってきても、今まで素通りしてきた方に興味を持ってもらうには、もっと目を引くようなアイデアや紙面づくりが必要だと感じました。

何回かに1回はイラストや漫画、写真などを前面に出し、簡潔な表現でお伝えできれば、子どもから年配の方にも手に取ってもらえ、新規に読む人も増えるのではと思います。

まずは伝えるべきことをしっかりとお伝えし、そこから継続的に読んでいただけるような紙面づくりを進めていきたいと思っております。

広報紙発行特別委員会

とちぎ市議会だよりの感想をお寄せください

表紙の写真はいかがでしたか？
関心を持った記事はありましたか？
見やすいレイアウトでしたか？
こんな記事があったらいいなと思うものはありますか？

どんなことでも大歓迎です。

下記の連絡先まで、感想をお寄せください。

【連絡先】 議会事務局

TEL 21-2505 FAX 21-2688

Mail gikai02@city.tochigi.lg.jp

副委員長に氏家議員が就任

中島副委員長の辞任に伴い、新たに氏家議員が委員に選任され、副委員長に就任しました。



久しぶりの広報委員で戸惑いもありますが、市民の皆様身近で分かりやすい紙面づくりに、頑張ります。



モニターインタビュー No.4, 5

今回はスペシャルバージョンで2名の方にご登場いただきました。

紙面を充実させるためのアンケートにご協力をいただいている「議会広報紙モニター」にインタビューするコーナーです。

MONITOR
INTERVIEW

毎回アンケートにご記入頂いていますが、議会だよりの感想をお聞かせください。

実はモニターをお願いされるまで一度も議会だよりを読んだことがありませんでしたが、議会に関する知識がない状態でも、目に付く場所に用語解説があるので理解しながら読むことができ、紙面から議員さん方の考えが伝わってきます。特に女性議員は育児や教育に関心があり、同じ女性として心強いという印象を受けました。

大丸さんは、就職するために栃木市に移住してきましたが、栃木市の感想はどうですか。

移住して4年になりますが、巴波川周辺は節句の時期になると、鯉のぼりで装飾されます。季節を感じることができ、地域全体でお祝いしている気分になり、通るたびに気持ちが晴れます。これからもずっと続いてほしいです！



議会広報紙モニター 大丸 愛理さん (左)

栃木市及び議会や議員に要望などありますか。

電車の本数をもっと増やしてほしいことと、駅前の充実を望みます。衣服を買う場所がなく、ファストフードなどの軽食店、若者の娯楽施設も少なく、映画館などがあればうれしいです。

MONITOR
INTERVIEW



議会広報紙モニター 富山 佐知子さん

広報紙モニターになってみて一言お願いします。

毎回楽しく拝見しています。

なかでも、一般質問は大変興味深く、現在、市内でどんなことが問題となって、どう対応されるのか、勉強になります。

栃木市に望むことはありますか。

子育て世代として、子育てしやすい環境づくり、施設の充実・整備に関心があります。

この4月から導入された、小中一貫教育が、広く地域に浸透して、今後「地域と共にある学校」として、学校・家庭・地域がひとつになり、子どもたちを支えることができたらと期待せずにはられません。

私も積極的にかかわっていきたくて考えています。

政務活動費(収支報告書等)の閲覧について

政務活動費の使途の透明性・公開度を高めるため、平成29年度から「政務活動費収支報告書の閲覧に関する実施要領」に基づき、収支報告書等の書類を、情報公開条例による手続きを経ることなく、誰でも議会事務局で閲覧することができます。

なお、平成29年度交付分の政務活動費の収支報告書等(領収書、その他の支出を証明する書類全て)を、平成30年度から、ホームページにて公開いたします。

項 目	内 容
1 研究研修費	会派が研究会・研修会を開催するために必要な経費、又は会派の所属する議員が他の団体の開催する研究会・研修会に参加するために要する経費 (例：会場費、講師謝金、出席者負担金・会費等)
2 調査旅費	会派が行う調査研究活動のために必要な先進地調査、又は現地調査に要する経費 (例：交通費、宿泊費等)
3 資料作成費	会派が行う調査研究活動のために必要な資料の作成に要する経費 (例：印刷製本費、翻訳料、事務機器リース代等)
4 資料購入費	会派が行う調査研究活動のために必要な図書・資料等の購入に要する経費
5 会議費	会派が行う調査研究活動のための会議、住民からの市政に対する要望・意見等を聴取するための会議等に要する経費 (例：会場費、印刷費等)
6 人件費	会派が行う調査研究活動を補助する臨時の職員を雇用する経費
7 その他の経費	上記以外の経費で会派が行う調査研究活動に必要な経費

9月定例会の予定 (変更になる場合があります)

日	月	火	水	木	金	土
8/27	28	29	30	31	9/1	2
				新聞折込	本会議 議案等提案	
3	4	5	6	7	8	9
		本会議 『一般質問』				
10	11	12	13	14	15	16
	委員会 (総務) (民生) (産業教育) (建設)			委員会 (総務) (民生)		
17	18	19	20	21	22	23
		委員会 (産業教育) (建設)				
24	25	26	27	28	29	30
		本会議 議案等採決				

傍聴にお越しく下さい

日程と一般質問の内容は、確定次第、ホームページ等でお知らせするほか、8月31日(木)に新聞折り込みを予定しています。

ぜひ傍聴にお越しく下さい!

6月定例会の傍聴者は
・・・81人でした。



広報紙発行特別委員会

6月定例会では「防犯カメラの設置及び運用に関する条例」や「中小企業・小規模企業の振興に関する条例」など、今後の市民生活において非常に重要な議案が議決されました。

安全・安心で住みよい街づくりを実現するために、今後も議会は皆様の声に耳を傾けていきたいと思えます。

また、議会だよりは私たち議員と市民の皆様をつなぐ貴重な媒体です。

幅広い年齢層の皆様にご覧いただき、ただけるよう、これからもより一層の努力をしておりますので、ご意見賜りますようお願いいたします。

委員長 青木 一男
副委員長 氏家 晃一
委員 針谷 一育
委員 坂東 敏造

写真アドバイザー

中時 千針 白石 小坂 針谷 青木
島田 葉谷 石久保 東谷 氏家
優宣 正正 幹かお 敏造 晃一
次久 弘夫 男 敏造 晃一